

令和2年度 学校評価 自己評価表（最終評価）

令和3年3月16日現在

安芸太田町立加計中学校

学校教育目標		高い志を持ち、地域に貢献し、主体的に生きる生徒の育成		めざす生徒像	・互いのよさや違いを認め合い、共に伸びる生徒 ・人のためになる行動ができる生徒 ・学びを生かし、他者と協力し、目標に向かって挑戦し続ける生徒							
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための具体的方策	評価指標	目標値	中間達成値	達成度	中間評価	最終達成値	達成度	最終評価	○成果 ●課題	報告
広い視野を持つために	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 基礎学力の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校による未習内容の完全履修の実現 生活習慣（起床・就寝、学習開始時刻：3点固定）の確立（スクールライフの活用・教育相談学習カウンセリング） 家庭学習の習慣化と自主学習ノート（継続ノート）の内容充実（学習時間週10時間以上、毎日30分以上） 	<ul style="list-style-type: none"> 未習内容をゼロにする。 授業時間の確保（90%） 	90	—	—	3	100%	100%	3	<ul style="list-style-type: none"> ○2か月の臨時休校があったが、見直しをもって授業数を100%以上確保することができた。 ○3点固定ができている生徒の割合は3学期末調査で81.4%。2月に「3こて週間」の取組みを実施した。1週間の生活を記録することを通して、規則正しく生活することの良さや時間を意識して過ごすことの大切さに気付くことができた。 ○学級の毎日の取組により継続ノート、スクールライフの提出率は2学期末より向上した。生活をふりかえって綴る力を鍛えている。 ○1日30分以上、1週間で10時間以上学習する生徒は4.6%向上した。 ○週10時間以上は37.3%である。3年生は進路に向けて家庭学習時間が伸びた。 ●1、2年生の家庭学習時間が課題である。 ○1月に実施した標準学力テストの結果では5教科平均で見ると、全学年が全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況であった。 ●昨年度より正答率が向上した生徒の割合は2年生が35.3%、3年生が46.0%であった。目標値の80には達していない 	令和2年度第3回学校運営協議会 令和3年3月16日開催 にて報告済
		<ul style="list-style-type: none"> 数学の学力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 「標準学力調査」の分析による個人内経年変化の向上（80%） 	80	—	—		40.7%	56.9%			
		<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」実践 多様な価値観の受容 	<ul style="list-style-type: none"> 協調学習による「主体的・対話的で深い学び」の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 協調学習の実践（各教諭～学期に1回・年3回の実践） 	80	—		—	60.0%		75.0%	
		<ul style="list-style-type: none"> 総合的な学習の時間における「資質・能力」の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 「資質・能力」の自己評価の肯定的割合（80%） 	80	87.0	108.8%		4	87.0%		108.8%	
	<ul style="list-style-type: none"> 異文化間協働活動を取り入れた総合的な学習の時間の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 授業実践による生徒の変容に関する生徒アンケート調査等の肯定的割合（80%） 	80	—	—	4	100%	100%				
	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」実践 多様な価値観の受容 	<ul style="list-style-type: none"> ●年間を通して1人3回の授業実施できたのは、常勤の教諭10名うち6名である。実技教科は時間数の確保等の課題があり達成は難しい。 ○各学年とも昨年までとは内容を少し変更して取組み、12月11日に発表会を実施した。ホームページに動画を掲載し保護者も見られるようにした。今後も加計中で身に付けたい6つの「資質・能力」を意識し振り返りをしながら進める。 ○10月JOCA×3代表加藤秀一さん。12月には国際交流員ヴェロニカさん（シカゴ出身）を招聘し国際理解教育を進めた。 	80	87.0	108.8%	4	87.0%	108.8%				
地域に貢献するために	<ul style="list-style-type: none"> 小中高12年間の連携教育 ボランティア活動の実践 防災教育による地域連携 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校との交流活動・連携（協調学習、学校行事、生徒指導等） 	<ul style="list-style-type: none"> 自己有用感の向上（80%） 	80	—	—	4	91.5%	114.3%	4	<ul style="list-style-type: none"> ○小学6年生の体験入学では中学2年が加計中6訓を分かりやすく教えた。部活動指導をするなかで児童の入学への不安をやわらげることができている。 週1回の小中生指導主事の連携の他、授業参観等で児童の実態把握を進めている。 ○高校との連携行事は中止となった。高校からは中学3年数学の指導に、中学からは保健体育科が高校へ毎週連携に行くことで情報交流をしている。 ○10月に縦割りグループで町内のボランティア清掃活動を行った。学校周辺の橋や公園、商店街を掃除することでふるさとへの愛着を感じ、もっときれいにしたいという意欲の向上にもつながった。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 加計高校との連携型中高一貫教育（合同学校行事、進路指導、キャリア教育等） 						78.3%	97.8%		78.3%	97.8%
		<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携によるボランティア活動の実践 						78.3%	97.8%		78.3%	97.8%
主体的に生きる生徒の育成のために	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体的活動の充実 学校行事、生徒会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「加計中六訓」と「ノーチャイム行動」の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ノーチャイム行動の自己評価達成度の割合（80%） 	80	—	—	4	86.9%	108.6%	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ノーチャイム行動は全ての生徒に浸透した状況で時計を見て行動できている。学級委員が3分前学習を呼びかけ全ての教科で取組を進めている。2学期の評価より3.8%向上した。 ○9月に実施した運動会では3年生がリーダーシップをとり、短期間の取組ではあったが達成感をもつことができた。 ○無言掃除の充実のために縦割り班掃除をおこなった。上級生が掃除の仕方を下級生に教えることで掃除のレベルアップを図ることができている。生徒会の環境委員会が中心になって進めている校内ボランティア清掃の取組で、生徒自らが環境を整えるための意識をもって学校生活を送るようになってきている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の3機能を活かした行事や体験活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や体験活動後の生徒アンケートの満足度や達成度等の割合（80%） 					93.4%	116.8%		93.4%	116.8%
		<ul style="list-style-type: none"> 無言掃除への取組 	<ul style="list-style-type: none"> 無言掃除の充実感（80%） 					91.3%	114.1%		100%	125%
	<ul style="list-style-type: none"> 体力づくり 食育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 体力づくりのための工夫（体育的行事・部活動内容と体力づくり） 	<ul style="list-style-type: none"> 体力テスト（持久力・柔軟性）の結果の向上（昨年度を上回る） 	昨年度以上	—	—	3	—	—	4	<ul style="list-style-type: none"> 体力テストについて、今年度は9月末から10月にかけて学校独自で実施。一昨年の県平均と比較すると昨年とほぼ同様に、全項目のうち平均を上回ったのは、全項目の62.5%であった。部活動において、前年度並みの入賞。山県郡ロードレース大会に全生徒の約半数が参加。中国駅伝では郡内初の1区区間賞。 ○新型コロナ感染予防で全員が前を向いてしゃべらずに食べている。 ○給食をいつも残さずに食べている生徒の割合は3学期調査で88.8%である。 	
<ul style="list-style-type: none"> バランスのとれた好き嫌いのない食事の摂取（給食指導） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食での完食率（残菜等の状況）（80%） 	80	83.0%	103.7%	4	88.8%	111%					
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務の縮減及び「町立学校の教育職員の方針」の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 水曜日は部活休養日と定時退校日 勤務時間管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務の削減し、時間外在校等時間が限度時間：1か月45時間、1年360時間未満となること 月80時間を越える教員0を目指す。 	80	71.4%	89.3%	3	77.3%	96.6%	3	<ul style="list-style-type: none"> ○2月までの11か月間のうち、7、8、10月を除き昨年度を下回った。 ○80時間を超えた者は、7月1名、12月1名。昨年度比内-3名。 ●45時間未満の者は、昨年度比+7名（累計93名）（数値は2月末時点） 	

※達成度(%)=達成値÷目標値×100 ※評価 4:100%以上(目標以上達成できている) 3:80%以上(目標を達成できている) 2:60%以上(目標をやや達成できていない) 1:60%未満(目標を達成できていない)